

組積材 ブロック塀について

<安心・安全なブロック塀>

ブロック塀は狭い国土のわが国において、建物の外構構造物として防犯、防火やプライバシーの確保にとっても役立っています。

また、施工性という面からも、手軽で加工しやすいのが特徴です。

ブロック塀がこれほど普及したのもそのためです。

その反面、地震などでの倒壊事例が報告され、ブロック塀の安全性が危惧されているのも事実です。しかし、地震などで倒壊したブロック塀の主たる原因は、不適切な設計・施工および経年変化による性能低下

であると考えられます。

ブロックはしっかりと定められた基準どおりの設計、施工を行えば、地震にも強く、耐久性、経済にも優れた建設資材であります。

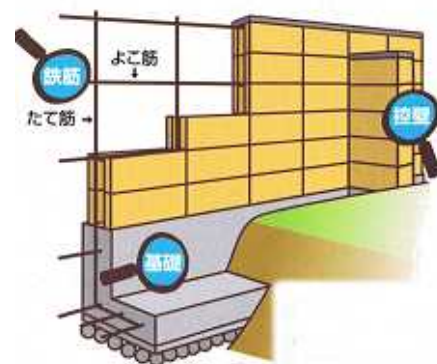
<安心・安全なブロック塀>の3つの秘密

1. 鉄筋での補強・・・きちんとされていますか？

よこ筋は、壁の長さ方向を一体とするもの。

たて筋は、壁にかかる力に抵抗する重要なもの。

※ブロック塀に挿入する鉄筋は、D10以上の異形鉄筋とする



2. 控壁・・・付いていますか？

塀の転倒に対する抵抗力を強くするため、

控壁という補強用の壁を長さ 3.4m以内毎につくります

※ブロック塀の高さが、1. 2mを超えるものとする。

ただし、改良土もしくは逆T形、L型基礎の場合は1. 6mを超えるものが必要となります

3. 基礎の深さ・・・十分ですか？

塀の基礎は鉄筋コンクリートや型枠ブロックでしっかり造り、

塀と一体となって転倒しなように、35cm以上地中に埋めます

コンクリートブロック塀の設計基準

ブロック塀の設計基準には、「建築基準法」と日本建築学会の「コンクリートブロック塀設計規準」があります。「建築基準法」よりも「コンクリートブロック塀設計規準」では、より厳しい規準が定められております。